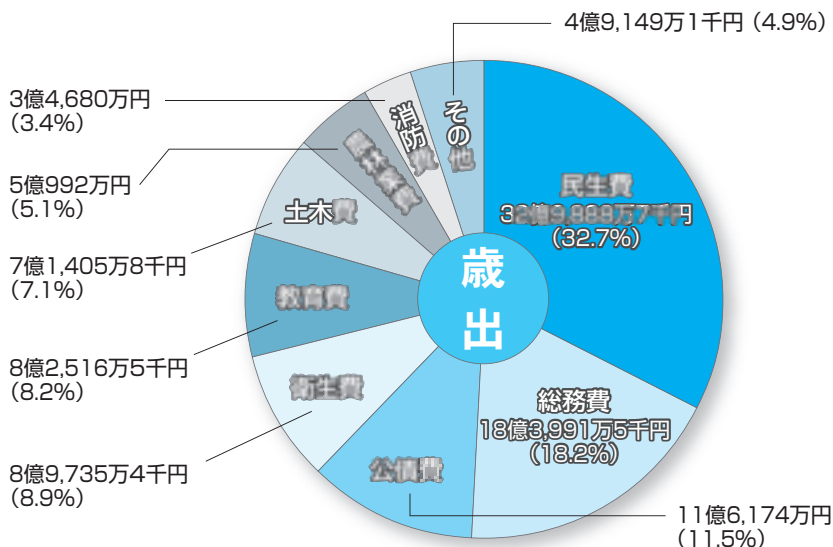
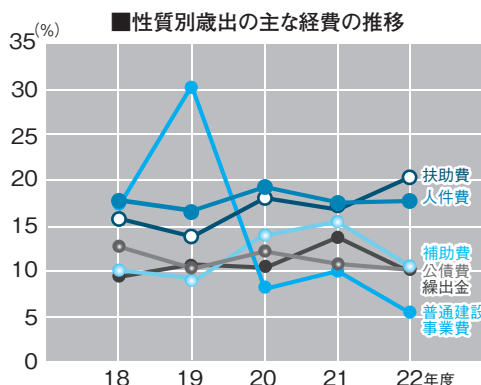


市が使ったお金は100億8,533万円

歳出

平成22年度は、子ども手当、(仮称)中央小・中学校建設事業による増はありましたが、定額給付金事業、道路整備事業、防災行政無線整備事業等の終了により、全体で前年比2億99万3千円の減となりました。

その他には、議会費、商工費、災害復旧費、労働費、諸支出金が含まれています。



市は、市民税や固定資産税などみなさんからの市税や国、県からの補助金などで思いやりのある市政を基本に、よりよい市民生活をめざし、市政を執行しています。そして、そのお金の使い途などの財政事情を年2回、市報を通じてみなさんに公表しています。今回は9月22日、市議会で認定された平成22年度一般会計決算の詳細を報告し、平成22年度決算と平成23年度予算の執行状況(9月30日現在)をお知らせします。

財

公営企業会計

＝水道事業会計＝

平成22年度は、水道料金収入の減少と簡易水道事業からの負担金の皆減で収益は減少しましたが、受水費や企業債利息の減少で経費が抑えられ、収益的収支は27,940千円の利益が生じました。



＝病院事業会計＝

平成22年度は、入院収益、外来収益は減少しましたが、給与費や材料費の減による事業費用の減少および手術件数の増により、収益的収支は、8,099千円の純利益が生じました。



収益的	収入	5億8,228万8千円
	支出	5億5,434万8千円
資本的	収入	6,469万円
	支出	1億7,927万円

収益的	収入	13億8,188万3千円
	支出	13億7,378万4千円
資本的	収入	2,392万9千円
	支出	3,975万円

特別会計

特別会計とは、地方公共団体が特定目的の事業を行う場合に、特定の歳入で特定の歳出にあて、一般会計と切り離して経理しているものです。

区分 会計名	歳入	歳出	差引額
土地区画整理	6億9,197万円	6億7,713万8千円	1,483万2千円
公共下水道	4億4,984万7千円	4億4,984万7千円	0円
農業集落排水	8,302万2千円	8,112万9千円	189万3千円
老人保健	420万5千円	420万5千円	0円
国民健康保険	29億2,765万5千円	27億3,948万1千円	1億8,817万4千円
後期高齢者医療	2億3,104万9千円	2億3,089万9千円	15万円

※老人保健事業は、後期高齢者医療にかわったため残務対応が主であり、平成22年度でこの特別会計も終了しました。